

障害者支援施設入所者地域移行促進等検討事業

予算額：224千円

1 事業目的

平成27年度からの障害者プランにおいて平成29年度までの3年間で福祉施設から地域生活への移行者を累積で21人とする目標を掲げ取り組んできたが、平成28年度末時点での実績は5人となっている。また、入所施設の定員数が他府県に比べ少ないことから、新規の入所希望者の受入れが県内施設では難しい状況にあり、県外の施設に入所をしている障害者も増加している。

改定後の障害者プランにおいても、福祉施設から地域生活移行を重点目標とする予定であることから、目標達成に向けた具体的取組方策等の検討を進め地域で取り組むことにより、入所施設からの地域生活移行を促進し、あわせて入所支援ニーズの高い強度行動障害者に対する地域生活での支援体制の充実にに向けた検討を進める。

2 事業概要

入所施設から地域生活への移行が進まない要因としては、グループホームの不足、地域生活での支援人材の確保の難しさ、利用者の生活の変化に対する不安など、様々な要因が複合的に関係していることから、関係者による検討会議を設置し、地域移行が進まない要因分析や地域移行を促進するための具体的方策の検討、入所ニーズの高い強度行動障害者への地域支援体制の充実にに向けた検討等を行い、地域障害者自立支援協議会と連携をしながら、具体的に地域での取組みを進める。

(1) 障害者支援施設入所者地域移行促進等検討会議の設置

- 構成：障害者支援施設、通所事業所、相談支援事業所、発達障害者支援センター、市町などの関係者
- 検討内容：①入所施設からの地域生活移行について
入所施設の現状分析、地域移行が進まない要因分析、地域移行のための具体的取組方策 等
- ②強度行動障害者の地域生活支援について
強度行動障害者の実態把握、具体的支援方策等の検討 等

(2) 地域自立支援協議会における具体的取組の推進

検討会議において、取組を進める地域を選定したうえで、その地域の状況にあわせた具体的取組を検討し、地域障害者自立支援協議会と連動して、実際に具体的な取組を進める。

3 事業期間 平成30年度

【イメージ】

